

3年生保護者各位

刈谷市立朝日中学校
校長 佐野 吉 則

全国学力・学習状況調査の調査結果について

初秋の候 保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月18日（火）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きました。つきましては、下記のとおり、調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますのでご覧ください。

記

1 分析の方針と公表

文部科学省および愛知県教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえるとともに、序列化や過度の競争につながらないように十分配慮する」という方針をとっています。刈谷市もその方針を受けて、刈谷市全体の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱っています。そこで、本校も市と同様の方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

なお、刈谷市の調査結果の概要は、刈谷市のホームページに掲載しています。

2 本校の概要

国 語	・学習指導要領で示されている評価の観点（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等）について、国や県の状況を踏まえて分析すると、本校は満足できる状況である。 ・知識及び技能においては、特に「我が国の言語文化に関する事項」について、思考力・判断力・表現力においては、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全ての平均正答率が高い。 ・問題別に見ると、「文脈に即して漢字を正しく書くことができる」ことに課題が見られたので、今後の授業で理解を深めていきたい。
数 学	・学習指導要領で示されている評価の観点（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等）について、国や県の状況を踏まえて分析すると、本校は十分満足できる状況である。 ・図形、関数、データの活用の領域について平均正答率が高い。 ・問題別に見ると、国や県同様「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし説明する」ことにやや課題が見られたため、今後の授業で理解を深めていきたい。
英 語	・学習指導要領で示されている評価の観点（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等）について、国や県の状況を踏まえて分析すると、本校は十分満足できる状況である。 ・「聞くこと」「書くこと」の領域について平均正答率が高い。 ・問題別に見ると、国や県同様「疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書く」ことにやや課題が見られたため、今後の授業で理解を深めていきたい。
生徒 質問紙	・読書が好きな生徒が多く、ふだん、読書をする時間が長い。新聞を読む生徒も多い。 ・学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めることができていると感じている生徒が多い。引き続き、生徒同士で学び合い、高められるよう支援したい。 ・英語の授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表が行われていたと感じている生徒が多い。 ・総合的な学習の時間に、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ経験がある生徒が少ない。今後は、各教科で学んだことの実感を深めることで、学んだことを生かしながら考えをまとめたり、次の学習につなげたりすることができるようにしたい。 ・国や県の平均に比べ、地域や社会をよくするために何かしたいと思う生徒が少ないので、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心をもって、地域の行事に参加する生徒を育てたい。

※全国平均に比べ、ほとんどの設問に対して無回答率が低く、難しい問題にもあきらめずに前向きに取り組もうとする生徒の姿がうかがわれる。

3 留意点

- ・個別票の見方等について質問がありましたら、担任までご相談ください。